

浜松開誠館の教育と実践

浜松開誠館中学校高等学校



浜松開誠館中学校高等学校

浜松開誠館の教育と実践

浜松開誠館の教育

SDGs教育に力を入れて生徒の主体性を伸ばす



浜松開誠館 × SDGs 生徒の声 Student Voice

世界を変えるのはキミだ!

SDGsについて、社会に対する意識が驚き高まりました。

委員会や課外活動でもみんなが自発的にSDGs推進をすまうようにやりました。

本委員会も積極的にSDGs推進を担い、社会貢献に努めています。

SDGs推進に対して積極的に関わっていきなさいという期待もいただきました。

生徒会や部活動だけでなく、自発的に活動心が学生に育まれているように感じます。

SDGs推進のきっかけで、チャレンジ精神が高まり、自信を持って挑戦できるようになりました。

各委員会をはじめ、生徒が主体的に各課SDGs推進を推進しています。

自発的マインドやスキルが磨かれ、自ら新しい発見や発見があります。

SDGs推進のきっかけで、チャレンジ精神が高まり、自信を持って挑戦できるようになりました。

SDGsとは?

2015年9月の国連サミットで採択された、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称です。目標が17あるゴール(169のターゲット)から構成され、2030年までに貧困・格差をなくす世界の発展、気候、資源などが「自分たちのための地球」で目標を定め、多様な民間の協賛に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜松開誠館 中学校 高等学校

HAMAMATSU KAISEIKAN

〒430-0847 静岡県浜松市中区松地町207-2
 TEL:1053-458-7111 FAX:1053-455-1680
 E-mail: info@kaiseikan.ed.jp
 Web site: http://www.kaiseikan.ed.jp/

SDGs (No.13 Climate Action)教育

全校集会でも気候変動について学び、気候ネットワーク田浦事務局長による文化祭特別講演



2019.9.20 気候マーチ



2019.12.6 気候マーチの様子（有楽街と市役所前）



はままつグローバルフェア
【フェアトレードビーズ販売】



アースデイはままつ
【生徒ボランティア】



生徒がデザインした 開誠館マイボトル



「令和元年度環境白書」

本校が掲載

コラム 気候変動問題に関する若者の動き

世界経済フォーラムの世界の18歳から35歳を対象とした調査によると、世界で影響している最も深刻な問題は何かの設問に対して、最も多い回答が、「気候変動や自然破壊」で、約49%が回答しています。また、気候変動は人間によるものということが科学者により立証されているということについて約91%が同意しているなど、最も深刻な世界的問題である気候変動への関心が高いという結果が出ています。

2019年9月にニューヨークで行われた国連気候行動サミットや同年12月にマドリードで行われた気候変動枠組条約第25回締約国会議では、スウェーデンの若き環境活動家であるグレタ・トゥーンベリさんによる気候変動に対する若者の危機感を切実に訴えるスピーチが世界から大きな注目を集めました。グレタさんは、当時15歳であった2018年8月にたった一人でスウェーデンの国会議事堂前で気候変動対策を求める学校ストライキを始め、この取組はSNSを通じて全世界に広まり、Fridays For Future（未来のための金曜日）と呼ばれる取組になっています。

こうした若者を中心とした気候変動問題への関心の高まりは、我が国でも動きが見られます。特色のあるものとして、例えば、長野県白馬村では、気候変動問題に関心のある白馬高等学校からの提案が契機となり、2019年12月に気候非常事態宣言が行われました。また、同村は冬季にスキーをする観光客で賑わいますが、2020年は暖冬による雪不足で短期間しか開放できないグレンデがある状況となりました。こうした状況を受け、2月には白馬高等学校の生徒により、雪上でのグローバル気候マーチがスキー場で行われています。また、この取組が行われた前後では、このスキー場では、稼働するゴンドラ、リフト、降雪機などの全電力を再生可能エネルギーで閉めました。また、浜松開誠館中学校・高等学校では、気候変動問題やグレタさんの取組を学んだ生徒が、浜松市内で数百人規模の気候マーチを実施していますが、再生可能エネルギーへの転換等の対策を訴える政策提言を作成して、静岡県知事、浜松市長、岡崎市議会議員に手交するとともに、新聞にも気候危機を訴える一面広告を掲載しています。さらに、同校教員も生徒の取組を支持し、中学校・高等学校として初めてRE Actionへ参加するなど具体的なアクションを起こしています。

こうした中で、環境省では気候行動サミット期間中や気候変動枠組条約第25回締約国会議直前などに小泉進次郎環境大臣と気候変動対策に取り組む環境関係学生団体や環境NGO等との意見交換を行いました。今後政府として、気候変動による影響を最も受ける若者たちの声を真摯に受け止め、気候変動対策を推進していきます。

グレタ・トゥーンベリさんがCOP25で演説をする写真



資料：EPA＝時事

スノーリゾートから気候変動を考える3日間



資料：長野県白馬村

川路静岡県知事との対話の様子



資料：浜松開誠館中学校・高等学校

小泉環境大臣と Zoomミーティング 環境とファッションについて議論



2020.9.25 オンライン気候マーチ



https://www.youtube.com/watch?v=H_IX1wIVCxY&feature=youtu.be

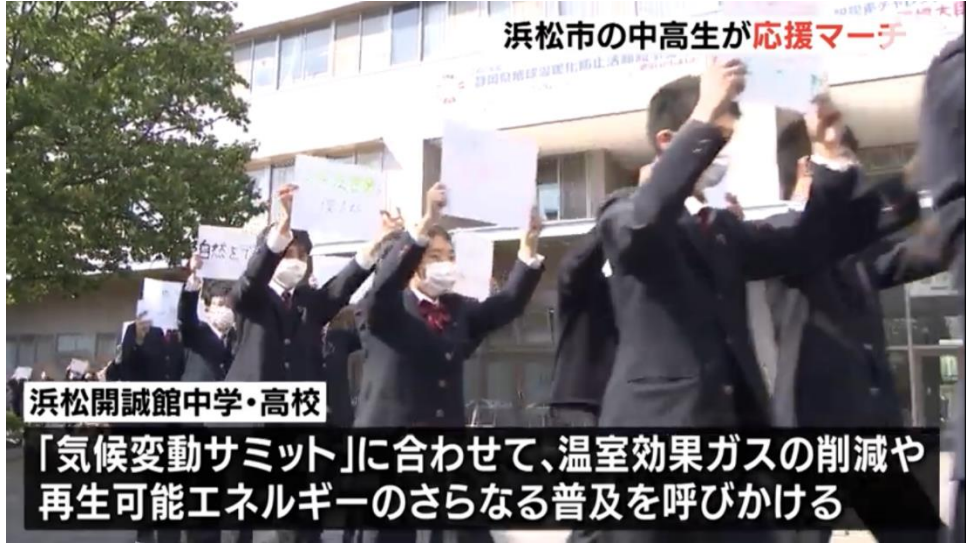
↑こちらからご覧いただけます。

白馬高校とのSDGs連携協定を結ぶ 生徒間交流の様子



2021.4.21 緊急応援気候マーチ





ご静聴ありがとうございました。

